

九州大学病院

研修医 内藤 東一郎 2017年9月

九州大学病院初期研修医2年目の内藤東一郎と申します。

2017年9月の1か月間、初期臨床研修プログラムの地域医療研修として、出水総合医療センターで研修をさせていただきました。

野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センター、出水総合医療センターでは消化器内科を中心に研修を行いました。

各診療所では、外来での慢性疾患のフォローや検査（心エコー、腹部エコー、上消化管内視鏡）を中心に経験しました。患者さんを取り巻く環境にも触れつつ診療に携わり、自ら検査を実施し診断をする経験は大変意義深いものでした。

往診では、診療所に来るのが困難な患者さんの診療を経験しました。検査も十分に行えない状況で患者さんの表情や対話の中で診療を行い、最期の時を迎えるまでどのように関わっていくか、地域での医療の現実を考えさせられました。

院内研修では消化器内科を選択し、多くの症例を経験しました。違う施設でのやり方を経験できたのは勉強になりました。

また出水医療センターでは医療安全室、地域連携室、リハビリテーション技術科、臨床検査科などの多職種における研修もさせていただきました。私たちのオーダーが多職種を経て、結果が出る過程を経験することで、これからの診療に大きな影響を与えたと思います。また、地域での医療に限った事ではありませんが、色々な職業の方との協力により患者さんにとってより良い医療を提供できるのだと改めて感じました。

出水で地域の研修ができて本当に良かったです。

最後ですが、研修担当の宗清先生、藤田先生をはじめとする消化器内科の先生方、各科の先生方、各診療所の先生方、コメディカルの方々、職員の皆様本当にありがとうございました。

将来、自分自身が地域の医療に関わっていく際には今回の経験を糧として、多くの患者さんに健やかな生活を送って頂けるように一生懸命、医師としての職務を全うしたいと思います。